太閤秀吉功路

名古屋駅西口から太閤通りを経由し、大鳥居から参道を通って秀吉、清正ゆかりの中村公園へ至るルート。

1 椿神明社

かつては笈瀬川畔にあり、椿の森に囲まれていたといわれる。この地はその昔伊勢の神領地ということで、椿神明社を外宮に見立て上ノ宮と呼び、牧野神明社を内宮に見立て下ノ宮と称していた。

住所：名古屋市中村区則武2丁目4−10
TEL：—

2 妙行寺

加藤清正の生誕地に建つ、名古屋城天守の石垣工事を手掛けた清正が普請小屋をもらい受け、御先祖御両親の菩提をとむらうため自身の生誕地に移築移転した、熊本・本妙寺の日蓮上人作の清正像が清正公堂にまつられている。清正銅像や生誕之地碑もあり、7月の大祭は多くの人でにぎわう。

住所：名古屋市中村区中村町字木下屋敷22
TEL：052-412-3362

3 常泉寺

加藤清正が一族の円住院日誦上人とはかって創建。ご本尊は、肖像束帯唐冠の木像で、清正が大坂城の豊臣秀頼からもらい受け、この地に鎮座したと伝えられる。境内には秀吉誕生の時に使われたという「豊太閤産湯の井戸」や秀吉が植えたとされる「御手植の柊」がある。

住所：名古屋市中村区中村町字木下屋敷47
TEL：052-412-3467

4 豊國神社

豊臣秀吉公を御祭神とする神社。明治18年(1885)、秀吉公生誕地・尾張中村に地元有志が尽力して現在地に創建。明治43年(1910)の清正公没三百年祭を機に清正公を摂社に祀った、出世開運の神として全国から多くの参拝者が訪れる他、秀吉公の命日にちなみ、毎月18日の月次祭や5月の大国まつりなど多くの行事で賑しまれている。

住所：名古屋市中村区中村町字木下屋敷 中村公園内
拝観：無料　TEL：052-411-0003

5 名古屋市秀吉清正記念館

豊臣秀吉と加藤清正に関する資料を収集・展示する歴史資料館。常設展は、秀吉の出世から天下統一、そして大坂の陣で豊臣氏の滅亡までを、5テーマに分けて紹介。毎年秋には、特別展示を開催するほか、館蔵資料や写真パネル展を随時開催している。

住所：名古屋市中村区中村町茶ノ木25 中村公園文化プラザ2階
TEL：052-411-0035　OPEN：9:30〜17:00
休館日：月曜日（祝日の場合は翌日）、第4火曜日、12/29〜1/3

犬千代 ルート

利家、慶次ゆかりの荒子から、
尾張前田家発祥の地に立つ前田速念寺へ向かうルート。

※犬千代ルートの詳細は、中川区役所や名古屋駅観光案内所等で配付している犬千代ルートマップをご覧ください。

1 前田利家公初陣之像とまつの像

あおなみ線荒子駅前に2007年に前田利家像が、2012年にまつの像が地元有志により建立。銅像の傍らには加賀前田家十三代藩主母の御殿であった成興閣に植えられた梅の木が植樹されている。

住所：名古屋市中川区吉良町138-2
TEL：—

2 荒子観音寺

奈良時代、泰澄大師の開基と伝えられる。多宝塔は名古屋市内最古の木造建築物で国重文。天正四年(1576)には前田利家が本堂を再建、山門の二体の仁王像は円空の作で、他に1,250体余の円空仏を所蔵。毎月第2土曜日午後1時〜4時に一般公開されている(有料)。

住所：名古屋市中川区荒子町宮窓138
TEL：052-361-1778

3 冨士権現天満宮（荒子城址）

前田利家とまつが幼年期から青年期にかけて過ごした荒子城址とされる。利家生誕地のひとつ、冨士権現は城の鎮守とされて祀られていた。後に天満天神が合祀された。利家が北陸に移った後に城は廃城となったが、社は村人が受け継ぎ祀ったといわれる。

住所：名古屋市中川区荒子4丁目208番1号
TEL：—

4 寶珠院

なごやセレ福神の大黒天霊場、名古屋三弘法の第一番札所、東海三十六不動の第十三番札所、名古屋二十一大師の第十一番札所。奈良時代、泰澄大師の開基と伝えられる、境内には市の保存樹や全国各地の銘石や巨岩が多数配置されている。

住所：名古屋市中川区中郷1丁目11番地
TEL：052-361-0638

5 龍潭寺

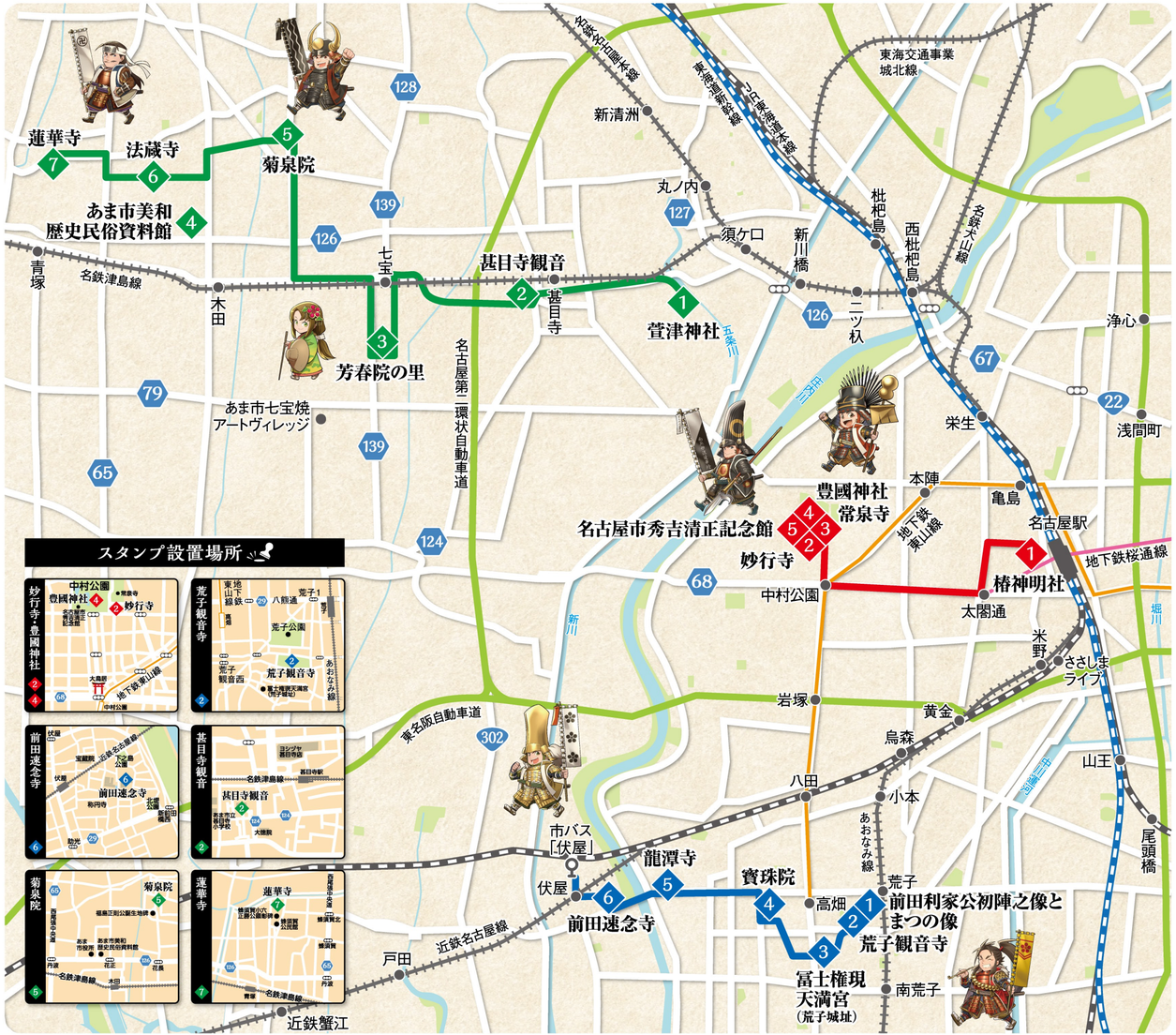
室町時代の1455年に創建された曹洞宗寺院で、「大松と仏足石の寺」として親しまれている。境内は「古松般若を該ず」の趣があり、大松の近くの仏足石に触って本堂に合掌すると、願いがかなうといわれている。須弥壇と如来仏頭が、市の文化財に指定されている。

住所：名古屋市中川区野田三丁目187
TEL：052-361-0893

6 前田速念寺

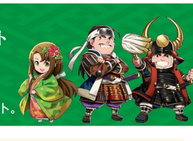
尾張前田家発祥の地、前田城址地に建つ。前田城は蟹江合戦で徳川軍に攻められ落城。境内には前田城主前田與十郎墓、旧前田村碑などがある。寺伝では利家は前田城で生まれ、7歳の時に荒子に移ったとされる。本尊は前田利家寄進による阿弥陀如来像。

住所：名古屋市中川区前田西町1丁目904番地
TEL：052-331-8593



正勝・正則 ルート

鎌倉街道近くの萱津神社から
正則ゆかりの菊泉院、さらに
正勝ゆかりの蓮華寺に向かうルート。



1 萱津神社

日本武尊が東征の途中に参拝したと伝えられる古社で、国内唯一の「漬物の神」が祀られている。また良縁に恵まれるといわれる「連理の榊」があり、毎年4月には縁結びと豊作を祈る献榊祭が開催される。なお神社の近くでは戦国時代、前田利家が初陣を飾った萱津の戦いが行われた。

住所：あま市上萱津車屋19
TEL：052-444-3019

2 甚目寺観音

縁起によると推古天皇5年(597)に伊勢の漁師が海中から聖観音菩薩を引き上げ、それを草庵に祀ったのが甚目寺の始まりとされる。東海三十六不動尊霊場第五番札所、尾張三十三観音第十六番札所。尾張四観音のひとつ、南大門、三重塔、東門など国指定重要文化財も多い。南大門の仁王像は福島正則が清須城城主時代に奉納したもの。

住所：あま市甚目寺東門前24
TEL：052-442-3076

3 芳春院の里

七宝町沖之島は、前田利家の妻まつ（後の芳春院）の生誕推定地。まつは、織田主計の子といわれるが、地元では沖之島の領主林日開常信の子で荒子城主・前田利昌（利春）がもらい受け、荒子の織田主計の養女としたという。その生誕推定地に、芳春院顕彰札が立てられている。

住所：あま市七宝町沖之島北屋敷3
TEL：052-443-7588（七宝焼アートビレッジ）

4 あま市美和歴史民俗資料館

「米づくりと昔のくらし」「郷土の歴史とくらしの道具」をテーマとした民俗資料の展示のほか、美和地区の遺跡から出土した考古遺物や蜂須賀正勝、福島正則などの戦国武将ゆかりの肖像画や銭鏡、さらに甘粕事件や二・二六事件を担当した陸軍法務官・小川關治郎に関する資料などを展示している。

住所：あま市花正七反地1　TEL：052-442-8522
OPEN：9:00〜16:00　休館日：毎週水曜・木曜日12/29〜1/3

5 菊泉院

鎌倉時代に創建、文禄元年より得宗として開山。福島正則の菩提寺として知られ、正則の位牌や護持仏の黒沙門天立像、肖像画が奉納されている。菊泉院の南に福島正則生誕地碑が、また西側には正則が修復造営したと伝えられる二ツ寺神明社があるなど、菊泉院周辺には正則ゆかりの史跡が残されている。

住所：あま市二ツ寺屋敷69番地
TEL：052-444-0936

6 法蔵寺

法蔵寺の本尊は、寛喜2年(1230)の銘をもつ鉄造地蔵菩薩立像（鉄地蔵）。寺伝によれば、橋狭間の戦いの折、蜂須賀正勝が戦勝祈願に持参しようと護摩寺から地蔵をこの地まで勧かしたものの重さに耐め、地蔵が手に持っていた鎖杖を持参し勝利を得た。その後地蔵を祀り寺が建立されたという。

住所：あま市中橋屋中43
拝観：無料　TEL：052-444-6745

7 蓮華寺

蜂須賀弘法と親しまれている蓮華寺は、弘法大師が開いたと伝えられ古刹で、蜂須賀小六正勝とその子家政の菩提寺。家政は、木曽、客殿およびに仁王門を寄進した（仁王門のみ現在に伝わる）。寺の周辺は蜂須賀郷と呼ばれ小六正勝はこの地に生まれた。蓮華寺の南には「蜂須賀小六正勝公碑」と「蜂須賀城趾」の石碑が建てられている。

住所：あま市蜂須賀大寺1352番地　TEL：052-444-1272